

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の間い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	バンコマイシン注の TDM ガイドライン変更に伴う初期投与量についての調査
研究期間	病院長許可日 ～ 2024年3月31日
対象患者	2022年8月1日から2023年1月31日の間に当院に入院し、バンコマイシン注を投与した患者さん
研究機関の名称	島根県中央病院
研究責任者	薬剤局 薬剤局次長 横手 克樹
意義・目的	2022年2月に「抗菌薬 TDM 臨床実践ガイドライン 2022」が発行され、バンコマイシン注の TDM 解析がトラフ濃度による投与設計から、AUC（area under the concentration time curve）を基準とした TDM へ変更となりました。新しいガイドラインでは腎機能低下例においても初回負荷投与が推奨されており、また早期の PK（薬物動態）と臨床結果との関連性が重要との意見があり、AUC _{24-48h} =400~500 μg・h/mL 達成も考慮することの記載がされています。当院においても、TDM ガイドラインの改定に沿って、バンコマイシン注の投与方法についての院内抗菌薬使用指針の改定を行いました。改定後、当院においてバンコマイシン注が適切な初期投与が行われているかについて調査を行い、今後の業務に役立てていきたいと考えます。
研究の方法 (試料・情報の利用 方法・他施設への提 供方法を含む)	電子カルテより、「利用する情報の項目」を収集します。抽出したデータをもとに、①初回負荷投与の実施率、②解析ソフト (PAT) を用い、バンコマイシン注の UC _{24-48h} =400~500 μg・h/mL の達成率を評価します。
利用・提供する試 料・情報の項目	年齢、性別、身長、体重、バンコマイシンの投与量・点滴時間・投与開始時間、Cre、推算 GFR 等
試料・情報の 提供の有無	試料・情報の他施設への提供 なし
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	研究の結果は、第 62 回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会にてポスター発表として公表をする予定です。
備考	

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院
薬剤局 横手 克樹
(主担当：森山 史就)
電話：0853-22-5111

事務担当：臨床研究・治験管理室
電話：0853-30-6590 (直通)
